

## 平成 20年 3月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19年 8月 14日

上場会社名 セイコーホールディングス株式会社  
 コード番号 8050  
 代表者 代表取締役社長 村野 晃一  
 問合せ先責任者 取締役経理部長 高木 晴彦

上場取引所 東証一部  
 URL <http://www.seiko.co.jp>  
 TEL (03)6401-2111

(百万円未満切り捨て)

## 1. 平成 20年 3月期 第 1 四半期の連結業績 (平成 19年 4月 1日 ~ 平成 19年 6月 30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	48,898	4.3	993	△ 40.3	1,383	△ 36.3	792	△ 65.1
19年3月期第1四半期	46,890	△ 1.1	1,663	30.6	2,171	53.9	2,270	-
19年3月期	209,154	-	7,146	-	7,386	-	9,922	-

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	6.83		-	
19年3月期第1四半期	19.55		-	
19年3月期	85.46		-	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第1四半期	255,331		66,566		25.9		570.76	
19年3月期第1四半期	239,537		56,555		23.3		480.53	
19年3月期	245,087		64,606		26.0		548.87	

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	1,625		△ 6,423		4,382		18,641	
19年3月期第1四半期	2,328		△ 1,124		△ 347		12,486	
19年3月期	14,714		3,137		△ 11,073		18,717	

2. 平成 20年 3月期の連結業績予想 (平成 19年 4月 1日 ~ 平成 20年 3月 31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
中間期	104,000	5.4	3,500 △	25.1	3,000 △	41.5	1,500 △	80.3	12.92
通期	218,000	4.2	9,300	30.1	8,000	8.3	11,000	10.9	94.76

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注)詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧下さい。

※本資料に記載しております業績等の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の環境変化等の要因によって予想数値と異なる場合があります。  
 なお、業績等の予想に関する事項は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

## (1) 第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)業績の概要

当連結会計期間のわが国経済は、企業収益の改善と設備投資の増加により緩やかな回復が続いております。個人消費は徐々に持ち直してはきているものの力強さは欠けております。世界経済は、米国で住宅市場の調整に伴い景気が減速し、個人消費にも翳りが見え始めております。一方欧州では景気回復が進み、アジアも中国を中心に景気拡大が続いております。

当連結会計期間の連結売上高は488億円、前年同期に比べて4.3%の増収となりました。国内売上高は282億円(前年同期比1.5%減)、海外売上高は206億円(同13.4%増)であります。

これを事業別に見ますと、ウオッチ事業は海外での売上が順調に推移しましたが、販売費の増加により営業利益は前年同期を下回りました。プレジジョン事業は、売上は回復しておりますが半導体事業の主力製品である水晶発振器用ICの需要低迷などにより、営業損失となりました。眼鏡事業は海外売上が欧州を中心に好調なことから増収増益となりました。クロック事業は、売上はほぼ前年同期並でしたが、為替の影響などにより採算が悪化し営業損失となりました。その他の事業は売上の減少により営業損失となりました。

これらの結果、営業利益は9億円(同40.3%減)、経常利益は13億円(同36.3%減)となりました。当期における特別損益の計上は無く、当第1四半期純利益は7億円(同65.1%減)となりました。

## (2) 事業セグメント別の概況

## ① ウオッチ事業

ウオッチ事業は売上高249億円(前年同期比5.7%増)、営業利益は14億円(同4.4%減)となりました。国内の売上は、女性用の「ルキア」「エクセリーヌ」、低価格帯の「ワイアード」が順調に推移しましたが、高価格帯の「クレドール」が前年を下回ったことなどにより、全体としてはほぼ前年並みに終わりました。海外は、米国で小売店の在庫調整の影響により売上が減少しましたが、欧州、アジアは総じて好調に推移しました。損益面では、販売費の増加により営業利益が前年同期を下回る結果に終わりました。

## ② プレジジョン事業

プレジジョン事業は、売上高88億円(同8.1%増)、営業損失6億円(前年同期

は4億円の営業損失)となりました。電子デバイス事業は売上を伸ばしましたが、ソリューション事業はプリンタ、タイムレコーダなどのビジネス関連機器が不調でした。また半導体事業は主力の水晶発振器用ICが需要低迷により売上を落としました。

③ 眼鏡事業

眼鏡事業の売上高は72億円(前年同期比7.1%増)、営業利益は2億円(同14.3%増)の増収増益となりました。国内は量販価格帯レンズの価格競争が激しさを増し売上減少となりました。海外は、米国において大手チェーン店への売上が堅調に推移したほか、欧州はドイツの景気回復等により大きく売上を伸ばしました。

④ クロック事業

クロック事業の売上高は、28億円(同1.6%減)となりました。国内は高価格品の「エムブレム」が堅調に推移しましたが、量販価格帯の置時計、掛時計は中国からの低価格輸入品の増加により売上減少となりました。海外はアジア向けを中心に底堅く推移しました。損益面では、主に為替の影響による採算悪化から、営業損失4億円(前年同期は営業損失2億円)となりました。

⑤ その他の事業

その他の事業は売上高67億円(前年同期比7.2%減)、営業損失1億円(前年同期は営業損失10百万円)となりました。ひきつづき収益改善に向けて鋭意努力してまいります。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当連結会計期間末の総資産は2,553億円、前年度末に比べて102億円の増加となりました。主な内訳は、売上債権の減少、たな卸資産の季節的要因による増加など流動資産の増加が33億円、不動産の取得による有形固定資産の増加、投資有価証券の評価差額金増加など固定資産の増加が68億円であります。負債につきましては、季節的要因による仕入債務の増加、長短借入金の増加などにより前年度末に比べ82億円増加し、1,887億円となりました。純資産は、配当金の支払による利益剰余金の減少、その他有価証券評価差額金の増加などにより前年度末に比べて19億円増加し665億円となりました。

当第1四半期のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益13億円、減価償却費10億円、売上債権の減少21億円、仕入債務の増加18億円などによりキャッシュ・フローが増加した一方、たな卸資産の増加32億円などによるキャッシュ・フローの減少により、前年同期と比べ7億円減少し16億円となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出47億円、投資有価証券の取得による支出15億円などにより64億円のマイナスとなりました。前年同期は11億円のマイナスでした。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払11億円、借入金の増加55億円などにより43億円となりました。前年同期は3億円のマイナスでした。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は186億円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

国内景気は、ひきつづき緩やかに拡大するものと見られますが、原油など資源価格の高騰による影響も懸念されます。海外におきましては、米国経済が減速するなかで、欧州は底堅く推移しアジアも中国を中心とした拡大が続くものと見られます。

現時点での連結業績の見通しにつきましては、クロック事業における採算性改善の進行遅れ及びその他の事業における宝飾事業縮小等に伴い、営業利益、経常利益、当期純利益を下記のとおり修正いたします。なお、保有する上場有価証券の売却は当初計画通り行ない、その売却益を特別利益に計上する予定です。

また1株当たり配当金につきましては、中間期末5円、期末10円、合計年間15円を予定しております。

#### 【連結業績の見通し】

	今回業績見通し		前回 (5月10日発表値)
売上高	2,180億円	(前年比 104.2%)	2,180億円
営業利益	93億円	(前年比 130.1%)	110億円
経常利益	80億円	(前年比 108.3%)	90億円
当期純利益	110億円	(前年比 110.9%)	135億円

#### 【事業セグメント別業績の見通し】

単位：億円

	売上高		営業利益	
	見通し	前年	見通し	前年
ウォッチ事業	1,130	1,141	83	87
プレジジョン事業	380	318	7	△19
眼鏡事業	310	282	9	7
クロック事業	130	122	△7	△10
その他の事業	290	291	△12	△12
事業別合計	2,240	2,157	80	51
連結合計	2,180	2,091	93	71

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去など、連結調整後の数値です。

#### 【中間連結業績の見通し】

	今回業績見通し	前回 (5月10日発表値)
売上高	1,040億円	1,040億円
営業利益	35億円	40億円
経常利益	30億円	30億円
当期純利益	15億円	20億円

※上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の環境変化等の要因によって予想数値とは異なる場合があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)が平成20年3月31日以前に開始する連結会計年度に係る連結財務諸表から適用できるようになったことに伴い、当第1四半期から同実務対応報告を適用しております。

この変更に伴う第1四半期連結財務諸表及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

(減価償却資産の減価償却方法の変更)

平成19年度の法人税法改正に伴い、親会社及び国内連結子会社は、当第1四半期から、平成19年4月1日以降取得した減価償却資産について、改正後の法人税法に基づく償却方法により減価償却費を計上しております。

この変更に伴う第1四半期連結財務諸表及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

平成19年度の法人税法改正に伴い、親会社及び国内連結子会社は、当第1四半期から、平成19年3月31日以前に取得した減価償却資産のうち前連結会計年度末までに償却可能限度額まで償却が達した資産について、改正後の法人税法に基づく償却方法により減価償却費を計上しております。

この変更に伴う第1四半期連結財務諸表及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	前 第 1 四 半 期 末 (平成18年6月30日)		当 第 1 四 半 期 末 (平成19年6月30日)		前連結会計年度末 (平成19年3月31日)		対 前 期 増減金額
	金 額	構 成 比 %	金 額	構 成 比 %	金 額	構 成 比 %	
( 資 産 の 部 )							
流 動 資 産	( 93,767 )	( 39.1 )	( 103,342 )	( 40.5 )	( 99,955 )	( 40.8 )	( 3,386 )
現金及び預金	12,519		18,684		18,758		73
受取手形及び売掛金	34,908		36,541		37,677		1,135
たな卸資産	38,121		40,278		36,463		3,814
未収入金	1,966		1,487		1,577		89
繰延税金資産	5,268		4,088		4,162		74
その他	2,654		3,652		2,791		860
貸倒引当金	1,672		1,390		1,474		83
固 定 資 産	( 145,770 )	( 60.9 )	( 151,989 )	( 59.5 )	( 145,131 )	( 59.2 )	( 6,857 )
1有形固定資産	( 74,221 )	( 31.0 )	( 76,653 )	( 30.0 )	( 73,742 )	( 30.1 )	( 2,911 )
建物及び構築物	32,975		29,664		29,107		557
機械装置及び運搬具	19,435		18,680		20,182		1,502
工具器具備品	13,912		14,106		13,742		364
減価償却累計額	40,864		40,358		40,972		614
土地	48,244		51,419		47,885		3,533
建設仮勘定	518		3,140		3,797		656
2無形固定資産	( 7,919 )	( 3.3 )	( 8,739 )	( 3.4 )	( 7,986 )	( 3.3 )	( 753 )
借地権その他	7,919		8,739		7,986		753
3投資その他の資産	( 63,629 )	( 26.6 )	( 66,595 )	( 26.1 )	( 63,403 )	( 25.9 )	( 3,192 )
投資有価証券	56,069		60,428		57,425		3,002
繰延税金資産	2,117		1,296		1,080		216
その他	5,998		5,424		5,402		21
貸倒引当金	556		553		504		48
資 産 合 計	239,537	100.0	255,331	100.0	245,087	100.0	10,244



(単位:百万円)

期 別 科 目	前 第 1 四 半 期 末 (平成18年6月30日)		当 第 1 四 半 期 末 (平成19年6月30日)		前連結会計年度末 (平成19年3月31日)		対 前 期 増減金額
	金 額	構 成 比 %	金 額	構 成 比 %	金 額	構 成 比 %	
( 負 債 の 部 )							
流 動 負 債	( 81,419 )	( 34.0 )	( 94,295 )	( 36.9 )	( 85,186 )	( 34.8 )	( 9,108 )
支払手形及び買掛金	24,025		30,067		27,485		2,581
短期借入金	33,739		39,589		31,347		8,241
1年以内に返済予定の 長期借入金	10,303		8,753		9,108		355
未 払 金	4,600		6,327		8,562		2,235
繰延税金負債	18		2		-		2
賞与引当金	850		931		1,919		988
商品保証引当金	815		903		857		46
そ の 他	7,066		7,721		5,906		1,815
固 定 負 債	( 101,562 )	( 42.4 )	( 94,470 )	( 37.0 )	( 95,294 )	( 38.9 )	( 824 )
長期借入金	67,314		66,901		68,958		2,057
繰延税金負債	6,530		7,439		6,388		1,050
再評価に係る繰延税金負債	5,249		5,670		5,668		1
退職給付引当金	10,696		10,394		10,195		199
役員退職慰労引当金	721		685		703		17
長期商品保証引当金	162		214		190		23
そ の 他	10,888		3,164		3,190		25
負 債 合 計	182,982	76.4	188,765	73.9	180,481	73.6	8,284
( 純 資 産 の 部 )							
株 主 資 本	( 29,321 )	( 12.2 )	( 35,232 )	( 13.8 )	( 35,775 )	( 14.6 )	( 543 )
1資 本 金	10,000	4.2	10,000	3.9	10,000	4.1	-
2資 本 剰 余 金	452	0.2	452	0.2	452	0.2	0
3利 益 剰 余 金	18,997	7.9	24,941	9.8	25,481	10.4	540
4自 己 株 式	128	0.1	161	0.1	158	0.1	3
評価・換算差額等	( 26,476 )	( 11.1 )	( 31,022 )	( 12.2 )	( 27,941 )	( 11.4 )	( 3,081 )
1 その他有価証券評価差額金	23,564	9.8	24,104	9.4	22,551	9.2	1,553
2 繰延ヘッジ損益	32	0.0	68	0.0	11	0.0	56
3 土地再評価差額金	2,744	1.1	3,355	1.3	3,355	1.4	-
4 為替換算調整勘定	200	0.1	3,630	1.4	2,045	0.8	1,585
少数株主持分	( 756 )	( 0.3 )	( 310 )	( 0.1 )	( 889 )	( 0.4 )	( 578 )
純 資 産 合 計	56,555	23.6	66,566	26.1	64,606	26.4	1,959
負 債 純 資 産 合 計	239,537	100.0	255,331	100.0	245,087	100.0	10,244

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 第 1 四 半 期		当 第 1 四 半 期		前 連 結 会 計 年 度		対 前 年 第 1 四 半 期 増 減	
	〔自平成18年4月1日 至平成18年6月30日〕		〔自平成19年4月1日 至平成19年6月30日〕		〔自平成18年4月1日 至平成19年3月31日〕		金 額	率
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	率
売 上 高	46,890	100.0	48,898	100.0	209,154	100.0	2,007	4.3
売 上 原 価	28,340	60.4	30,432	62.2	128,455	61.4	2,091	7.4
売 上 総 利 益	18,550	39.6	18,465	37.8	80,699	38.6	84	0.5
販売費及び一般管理費	16,886	36.0	17,472	35.7	73,553	35.2	586	3.5
営 業 利 益	1,663	3.5	993	2.0	7,146	3.4	670	40.3
営 業 外 収 益	( 1,254 )	( 2.7 )	( 1,206 )	( 2.5 )	( 4,208 )	( 2.0 )	( 48 )	( 3.8 )
受 取 利 息	31		86		185		55	
受 取 配 当 金	247		307		353		60	
持分法による投資利益	261		267		1,088		5	
受取家賃等賃貸料	288		155		905		133	
為 替 差 益	122		164		463		42	
そ の 他	302		224		1,211		78	
営 業 外 費 用	( 747 )	( 1.6 )	( 815 )	( 1.7 )	( 3,968 )	( 1.9 )	( 68 )	( 9.2 )
支 払 利 息	495		564		2,114		68	
そ の 他	251		251		1,854		0	
経 常 利 益	2,171	4.6	1,383	2.8	7,386	3.5	787	36.3
特 別 利 益	( - )	( - )	( - )	( - )	( 7,503 )	( 3.6 )	( - )	( - )
固定資産売却益	-		-		7,398		-	
退職給付制度移行益	-		-		105		-	
特 別 損 失	( - )	( - )	( - )	( - )	( 317 )	( 0.2 )	( - )	( - )
固定資産除却損	-		-		317		-	
税金等調整前 四半期(当期)純利益	2,171	4.6	1,383	2.8	14,572	7.0	787	36.3
法人税、住民税及び事業税	424		545		1,556		121	
法人税等調整額	556		29		2,927		585	
少数株主利益	32		16		166		16	
四半期(当期)純利益	2,270	4.8	792	1.6	9,922	4.7	1,478	65.1

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第1四半期(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等						少数株主 持分	純資 産計
	資本金	資 余 金	本 利 余 金	益 余 金	自己株式	株主資本 合計	その 他有 価証 券評 差額	繰 上 償 損 益	延 シ 益 差	土 再 評 額	地 価 金		
平成19年3月31日残高	10,000	452	25,481	158	35,775	22,551	11	3,355	2,045	27,941	889	64,606	
当第1四半期中の変動額													
剰余金の配当	-	-	1,161	-	1,161	-	-	-	-	-	-	1,161	
四半期純利益	-	-	792	-	792	-	-	-	-	-	-	792	
自己株式の取得	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	3	
自己株式の処分	-	0	-	0	0	-	-	-	-	-	-	0	
持分法適用会社の持分比率 変動に伴う増加	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	0	
実務対応報告第18号の適用に伴 う利益剰余金の変動	-	-	171	-	171	-	-	-	-	-	-	171	
株主資本以外の項目の当第1四 半期中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	1,553	56	-	1,585	3,081	578	2,503	
当第1四半期中の変動額合計	-	0	540	3	543	1,553	56	-	1,585	3,081	578	1,959	
平成19年6月30日残高	10,000	452	24,941	161	35,232	24,104	68	3,355	3,630	31,022	310	66,566	

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前 第 1 四 半 期	当 第 1 四 半 期	前連結会計年度
		(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前四半期(当期)純利益		2,171	1,383	14,572
減価償却費		1,066	1,043	4,633
退職給付引当金の増加額(減少額)		115	44	682
役員退職慰労引当金の減少額		15	17	33
貸倒引当金の減少額		96	49	405
受取利息及び受取配当金		279	394	539
持分法適用会社からの受取配当金		10	7	200
支払利息		495	564	2,114
為替差損益		11	16	9
持分法による投資利益		261	267	1,088
固定資産除却損		2	41	415
売上債権の減少額		3,604	2,179	2,005
たな卸資産の増加額		2,981	3,249	323
仕入債務の増加額		1,071	1,896	3,716
未払金の増加額(減少額)		2,206	857	221
その他の		811	276	7,003
小計		3,268	2,587	17,813
利息及び配当金の受取額		279	394	539
利息の支払額		471	484	2,147
法人税等の支払額		747	871	1,491
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,328	1,625	14,714
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有形固定資産の取得による支出		724	4,748	15,142
有形固定資産の売却による収入		278	16	20,999
投資有価証券の取得による支出		1	1,569	2,504
投資有価証券の売却による収入		13	-	19
貸付けによる支出		0	8	49
貸付金の回収による収入		21	12	84
その他の		710	126	269
投資活動によるキャッシュ・フロー		1,124	6,423	3,137
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入れによる収入		8,539	15,088	75,871
短期借入金の返済による支出		7,965	7,110	78,154
長期借入れによる収入		3,000	-	12,000
長期借入金の返済による支出		2,749	2,412	11,301
配当金の支払額		1,162	1,161	1,743
その他の		9	22	7,747
財務活動によるキャッシュ・フロー		347	4,382	11,073
現金及び現金同等物に係る換算差額		29	339	280
現金及び現金同等物の増加額(減少額)		827	75	7,058
現金及び現金同等物の期首残高		11,627	18,717	11,627
連結会社増減による現金及び現金同等物の増加額		31	-	31
現金及び現金同等物の期末残高		12,486	18,641	18,717

## (5) セグメント情報

## 1. 事業の種類別セグメント情報

(単位:百万円)

		前第1四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日		当第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日		増減( )	
		金額	百分比	金額	百分比	金額	率
ウォッチ事業	(1)外部顧客に対する売上高	23,497	%	24,865	%	1,368	5.8
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	140		113		26	19.3
	売上高計	23,637	100.0	24,979	100.0	1,341	5.7
	営業費用	22,076	93.4	23,486	94.0	1,409	6.4
	営業利益又は営業損失( )	1,560	6.6	1,492	6.0	68	4.4
プレジジョン事業	(1)外部顧客に対する売上高	8,013		8,656		642	8.0
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	155		175		20	13.1
	売上高計	8,169	100.0	8,832	100.0	663	8.1
	営業費用	8,582	105.1	9,470	107.2	887	10.3
	営業利益又は営業損失( )	413	5.1	637	7.2	224	-
眼鏡事業	(1)外部顧客に対する売上高	6,713		7,186		472	7.0
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	29		33		4	14.6
	売上高計	6,742	100.0	7,219	100.0	476	7.1
	営業費用	6,529	96.8	6,975	96.6	446	6.8
	営業利益又は営業損失( )	213	3.2	243	3.4	30	14.3
クロック事業	(1)外部顧客に対する売上高	2,231		2,198		32	1.5
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	636		622		14	2.3
	売上高計	2,867	100.0	2,820	100.0	47	1.6
	営業費用	3,076	107.3	3,261	115.6	184	6.0
	営業利益又は営業損失( )	209	7.3	440	15.6	231	-
その他の事業	(1)外部顧客に対する売上高	6,434		5,990		443	6.9
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	791		712		79	10.1
	売上高計	7,225	100.0	6,702	100.0	523	7.2
	営業費用	7,235	100.1	6,833	101.9	402	5.6
	営業利益又は営業損失( )	10	0.1	130	1.9	120	-
計	(1)外部顧客に対する売上高	46,890		48,898		2,007	4.3
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,752		1,656		96	5.5
	売上高計	48,643	100.0	50,554	100.0	1,911	3.9
	営業費用	47,502	97.7	50,026	99.0	2,524	5.3
	営業利益又は営業損失( )	1,141	2.3	527	1.0	613	53.8
消去又は全社	(1)外部顧客に対する売上高	-		-		-	-
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	(1,752)		(1,656)		96	-
	売上高計	(1,752)	-	(1,656)	-	96	-
	営業費用	(2,275)	-	(2,121)	-	153	-
	営業利益又は営業損失( )	522	-	465	-	57	-
連結	(1)外部顧客に対する売上高	46,890		48,898		2,007	4.3
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	-		-		-	-
	売上高計	46,890	100.0	48,898	100.0	2,007	4.3
	営業費用	45,226	96.5	47,905	98.0	2,678	5.9
	営業利益又は営業損失( )	1,663	3.5	993	2.0	670	40.3

(注)1. 事業区分の方法及び変更

事業区分につきましては、親会社における連結事業管理体制に基づき行っております。

## 2. 各事業区分の主要商品

事業区分	主要な商品
ウォッチ事業	ウォッチ
プレジジョン事業	高精度小型カメラモジュール、カメラ用シャッター、情報ネットワークシステム、半導体
眼鏡事業	眼鏡レンズ・フレーム
クロック事業	クロック
その他の事業	ゴルフクラブ、電気シェーバー、音響機器、ダイヤモンド、金製品、高級服飾・雑貨品、設備時計、スポーツ計時機器、ウォッチ修理・アフターサービス

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、前第1四半期1,090百万円、当第1四半期1,084百万円です。その主なものは、親会社(持株会社)に係る費用であります。

2. 所在地別セグメント情報

(単位:百万円)

		前第1四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日		当第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日		増減( )	
		金額	百分比	金額	百分比	金額	率
日本	(1)外部顧客に対する売上高	33,523	%	33,537	%	13	0.0
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,231		5,167		64	1.2
	売上高計	38,754	100.0	38,704	100.0	50	0.1
	営業費用	37,317	96.3	38,092	98.4	774	2.1
	営業利益	1,436	3.7	612	1.6	824	57.4
アメリカ	(1)外部顧客に対する売上高	5,721		5,435		286	5.0
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	-		0		0	-
	売上高計	5,721	100.0	5,435	100.0	285	5.0
	営業費用	5,591	97.7	5,455	100.4	136	2.4
	営業利益	129	2.3	19	0.4	148	-
欧州	(1)外部顧客に対する売上高	5,145		6,573		1,427	27.7
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	6		7		1	23.8
	売上高計	5,151	100.0	6,581	100.0	1,429	27.7
	営業費用	5,111	99.2	6,207	94.3	1,096	21.5
	営業利益	40	0.8	373	5.7	332	813.9
アジア	(1)外部顧客に対する売上高	2,500		3,352		852	34.1
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,107		9,141		1,033	12.7
	売上高計	10,607	100.0	12,493	100.0	1,885	17.8
	営業費用	10,157	95.8	11,911	95.3	1,754	17.3
	営業利益	450	4.2	582	4.7	131	29.2
計	(1)外部顧客に対する売上高	46,890		48,898		2,007	4.3
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	13,345		14,316		971	7.3
	売上高計	60,236	100.0	63,214	100.0	2,978	4.9
	営業費用	58,177	96.6	61,665	97.5	3,487	6.0
	営業利益	2,058	3.4	1,549	2.5	509	24.7
消去又は全社	(1)外部顧客に対する売上高	-		-		-	-
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	(13,345)		(14,316)		971	-
	売上高計	(13,345)	-	(14,316)	-	971	-
	営業費用	(12,951)	-	(13,760)	-	809	-
	営業利益	(394)	-	(556)	-	161	-
連結	(1)外部顧客に対する売上高	46,890		48,898		2,007	4.3
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	-		-		-	-
	売上高計	46,890	100.0	48,898	100.0	2,007	4.3
	営業費用	45,226	96.5	47,905	98.0	2,678	5.9
	営業利益	1,663	3.5	993	2.0	670	40.3

(注)1. 国又は地域の区分は、地理的隣接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1)アメリカ . . . . . 北米、中米、南米地域
- (2)欧州 . . . . . ヨーロッパ、アフリカ地域
- (3)アジア . . . . . アジア、オセアニア、中近東地域

3. 海外売上高

(単位:百万円)

		前第1四半期	当第1四半期	増減( )	
		自平成18年4月1日 至平成18年6月30日	自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	金額	率
アメリカ	海外売上高	6,295	6,049	246	%
	連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.4	12.4		3.9
欧州	海外売上高	6,157	7,635	1,477	24.0
	連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.1	15.6		
アジア	海外売上高	5,721	6,918	1,196	20.9
	連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.2	14.1		
計	海外売上高	18,175	20,603	2,427	13.4
	連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	38.8	42.1		
連 結 売 上 高		46,890	48,898	2,007	4.3

(注)1. 国又は地域の区分は、地理的隣接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1)アメリカ・・・北米、中米、南米地域

(2)欧州・・・ヨーロッパ、アフリカ地域

(3)アジア・・・アジア、オセアニア、中近東地域

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域の外部顧客に対する売上高であります。